

パリティ Parité

2021.3
Vol.26

特集

東京2020大会 から考える人権

スポーツを通して考える
多様性への理解と尊重

- P6 LGBTQとスポーツを支援「プライドハウス東京」
ステキに男女平等参画！ in 西東京「男性の活躍」編
- P7 パリティ・ライブラリー / パリティだより
- P8 悩みなんでも相談

男女平等参画社会は、男女が共に様々な分野で活躍できる社会です。
仕事も生活も楽しめる、そんなライフスタイルについて考えてみませんか。

東京2020大会から考える人権

スポーツを通して考える多様性への理解と尊重

コロナ禍で2020年の開催は延期となりましたが、東京オリンピック・パラリンピックへの期待は大きいものです。

世界各国から人々が集まるという点で、人権について考えるのに最適な機会です。オリンピック憲章は「人権尊重」を掲げています。これを機に、多様性への理解と尊重について考えてみましょうか。

オリンピックの歴史に見る人権

1896年ギリシャ・アテネの地で開催された第1回近代オリンピック。全能の神ゼウスを崇めるために男子のみで行われた古代オリンピックと同様に、女子の参加は認められませんでした。

第2回のパリ大会ではテニス・ゴルフの競技にはじめて参加が許され、22名(全体の2.2%)の女子選手が初参加。テニス・シングルスではイギリスの女子選手が初金メダルを獲得しました。その後アーチェリー、フィギュアスケート、水泳と、女子選手の参加が可能な競技は増えてきましたが、全

競技に参加できるようになったのは100年後の2012年ロンドン大会でした。また、出場割合も前回の2016年リオ大会でも45.6%と、未だに5割に至っていません。

オリンピック憲章に謳われている「人権尊重」によれば、人種、肌の色、性別はもちろん、性的指向、言語、宗教などに関してどんな差別も受けずにスポーツを享受する権利と自由は誰にでもあるはず。しかし、現実には、この権利と自由を求めて今なお模索が続いています。

1 人種差別

人種差別については、ヒトラーが開会宣言をした1936年ベルリン大会のように、プロパガンダに差別が利用されたことがあります。逆に、1968年のメキシコシティ大会でのブラックパワー・サリュートのように、人種差別への抗議が否定されたことも。表彰台で示威行為をしたアフリカ系アメリカ人選手2名は、政治活動を禁じるオリンピック憲章に反するとして即座に追放されたのです。

一方、南アフリカのアパルトヘイトが世界中から非難されていたことから、IOCは1964年の東京オリンピック以降南アフリカの参加を認めませんでした。その制裁は1991年にアパルトヘイトが撤廃されるまで続いたのです。

いられてきました。

一例を挙げましょう。1964年の東京オリンピック陸上競技で金メダルを獲得したポーランドのエワ・クロープコフスカ選手。染色体検査で女性であることを否定され、数々の優れた記録があるにもかかわらず選手生命を絶たれたのです。後に出産し「女性」であることを証明しましたが、剥奪されたメダルが返却されたのは1999年でした。

幸い、女性性別確認検査は2015年に廃止を決定しましたが、現在は「トランス女性」(出生時に割り当てられた性別は男性だが、性自認は女性の方など)に対して男性ホルモン量の検査が行われています。そのうえ「トランス女性」には見た目による風評・排除などもあり、新たな「性差別」が起きているといえます。

2 性差別

参加が許可された当初から、優れた身体能力をもつ女子選手が登場すると「本当に女性か?」と疑われ、性器を確認する視認検査(1966~1996)、性染色体を調べる検査(1996~2000)、テストステロン(男性ホルモン)の量を調べる検査(2001~2015)と、長い間性別確認が続けられてきました。こうした手続きの下で多くの女子選手が苦痛を強

3 障害者差別

身体障害者が競技に参加できるようにしたのは、1960年のローマ大会以降です。元は戦争で負傷した軍人たちが車椅子でアーチェリーに挑むという競技会でした。やがてそれが国際大会となり、パラリンピックとして多くの障害者が競技に参加できる場となったのです。

オリンピック
パラリンピック
人権年表



1894 ● IOC設立により近代オリンピック開催が決定

1896 ● 第1回アテネ ▼女性の参加認めず

1900 ● 第2回パリ ▼女性22名初参加…女性種目はテニス・ゴルフのみ

1904 ● 第3回セントルイス ▼女性種目にアーチェリーが加わる

1908 ● 第4回ロンドン ▼オリンピック憲章に「人権尊重」加筆
▼女性種目にフィギュアスケート加わる

1912 ● 第5回ストックホルム ▼女性種目に水泳加わる

1924 ● 第1回冬季 シヤモニー・モンブラン ▼冬季オリンピック開始

1928 ● 第9回アムステルダム ▼日本人女性陸上競技で初出場 人見絹枝

1936 ● 第11回ベルリン ▼女子100mで金メダルのH・ステイブンスに性別嫌疑で
IOCが生殖器を調べて女性と認める

1948 ● 第14回ロンドン ▼日本・ドイツは招待されず

1960 ● 第17回ローマ ▼夏大会後にパラリンピックスタート…8競技

1964 ● 第18回東京 ▼女子陸上金・銅メダルのE・クロープコフスカに
性別嫌疑で染色体検査後に失格
▼アパルトヘイトのため南アの参加認めず
▼アジア初開催

1968 ● 第19回メキシコシティ ▼女性のみ染色体検査開始
▼男子陸上200mの表彰台で黒人選手2名が
人種差別への抗議で直ちに追放

1972 ● 第20回ミュンヘン ▼イスラエル選手団が襲撃され11名の選手が犠牲に

1980 ● 第22回モスクワ ▼ソ連のアフガニスタン侵攻への抗議で西側諸国がボイコット

1992 ● 第25回バルセロナ ▼アパルトヘイト撤廃により南ア選手団参加

2000 ● 第27回シドニー ▼女性参加100年…聖火最終ランナー全て女性で行う

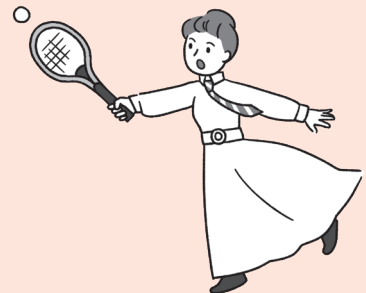
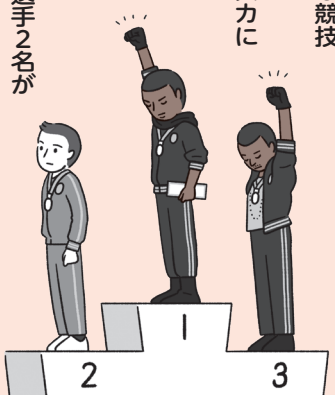
2012 ● 第30回ロンドン ▼全ての国・地域から女性が参加。全ての競技に出場可能となる
▼「性的指向による差別の禁止」が憲章に加わり選手23人が
性的マイノリティであることを公表
(書面での請求時のみテストステロン検査導入)

2014 ● 第22回冬季 ソチ ▼ロシア国内での同性愛宣伝禁止法成立に対し、
多数国が開会式ボイコット

2016 ● 第31回リオデジャネイロ ▼女性性別確認検査をIOCが廃止
▼多様性のテーマの下、選手56人が
性的マイノリティであることを公表

2018 ● 第23回冬季 平昌 ▼金・銅選手が性的マイノリティであることを公表

2020 ● 第32回東京 ▼コロナ禍のため翌年に延期



スポーツ界が抱える人権に対する課題

オリンピックに参加する女性はもとより、スポーツ界での女性人口も昨今増えつつありますが、それに伴って問題も生じています。

例えば、女性アスリートの健康面では、エネルギー不足・無月経・骨粗しょう症などが指摘されます。運動で消費するエネルギーに見合った食事を摂取するのは言うまでもないですが、新体操やフィギュアスケートでは「見映え」を意識して、適切な食事が摂取されていないとの報告があります。無月経や疲労骨折などについても、スポーツドクターや産婦人科医などが中心となり、女性アスリートの健康維持を支援する取組が進められているようです。

また、アスリートが結婚・出産を経て競技に戻りたいときに、練習時間や保育施設の確保など、競技に専念できる環境が得られないこともしばしばあります。その結果、キャリアから離脱することになり、企業に勤める女性社員と同様の問題が起きています。

選手団に占める女性コーチの割合はオリンピックで約10%、パラリンピックで約20%という低い現状です(図1)。しかし、女性コーチが増えれば、アスリートが結婚・出産を経て競技に戻りたいときに、練習時間や保育施設の確保など、競技に専念できる環境が得られないこともしばしばあります。その結果、キャリアから離脱することになり、企業に勤める女性社員と同様の問題が起きています。

スポーツ界でのこうした公表は、性的マイノリティの存在を広く意識させ、トイレや更衣室の改善などに繋がりました。とはいえ現在のルールでは、「トランス女性」が女子種目に参加する場合、男性ホルモンの保持など厳しい条件が課せられています。

以上のようオリンピックに限らずスポーツ界は多くの問題を抱えています。しかも、人種差別に性的マイノリティ差別にしても、これは人類全体が抱える課題です。

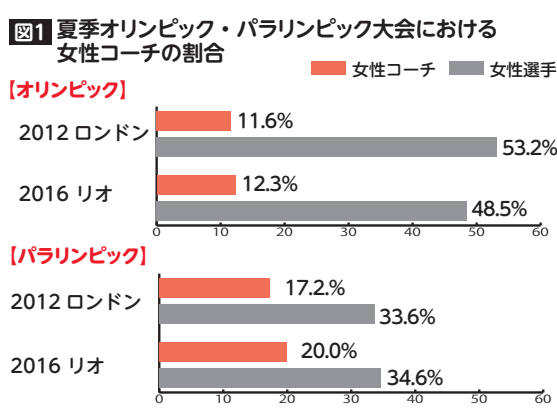
だれもがスポーツ観戦を楽しめるように、これらの課題を踏まえながら、本来のスポーツの祭典の意義をあらためて考えてみませんか。

国際的なスポーツ大会であるオリンピック・パラリンピックは、選手の巧みな技に感動しフェアプレイを讃えながら、国同士の友好や連携を図る場です。同時に、人種や性別、文化や習慣、障害の有無などさまざま

ば、選手の体調なども直接把握できないため、現在官民双方で進められている女性コーチ育成の取り組みに期待されています。

このほか、年収の男女格差はスポーツ界でも見られます。遠征費や施設使用料などのほか、障害者アスリートなら、義足や車椅子などの購入やメンテナンスにも出費がかかります。そのうえ車椅子利用のアスリートたちは、利用できる施設の確保も課題で、床が傷むなどの理由で使用を拒否されることも多いといわれています。

以上のような課題とともに、前述の人種差別、さらにはLGBTQな



(引用) 男女共同参画局資料より抜粋

す。「トランス男性」(出生時に割り当てられた性別は女性だが、性自認は男性の方)にはこうした条件は一切つけられていません。

また、アメリカの「Black Lives Matter」を受けて、最近テニスの大坂なおみ選手がマスクで人種差別への抗議の意思を示したことは世界が知るところです。アスリートとしてロールモデルの役割を果たしましたが、東京大会ではこの問題にどんな反応が出るでしょう。

まな違いを受け止め、互いに尊重することを学ぶ機会でもあります。スポーツを通してこのような他者理解が進めば、それまでの偏見も薄れるでしょう。スポーツの世界で調和が生まれれば、私たちの身の周りにも多様性の理解と尊重が広がり、ひいては世界の平和にも繋がるかもしれません。

異なる者が互いに認め合い、個性を活かし合い、支え合う。私たち一人ひとりが、そんなダイバーシティ(=多様な受容)社会を実現させる最初の一步を踏み出していきたいと思います。

自分らしく思い描くことを実現させ、楽しく生きることをモットーに！



体操選手
宮川 紗江さん

1999年生まれ
2002年(2歳)
体操競技を始める
2013年(13歳)
女子ジュニアナショナル選手となる
2014年(14歳)
第53回 NHK杯体操選手権 出場
南京ユースオリンピック 出場
全日本体操種目別選手権大会 出場
2016年(16歳)
リオデジャネイロオリンピック 出場

皆さんこんにちは、女子体操選手の宮川紗江です。私はここ西東京市生まれの現在21歳です。

『人権』というテーマについて子どもの頃はそんなに考える機会もなかったのですが、大人になるにつれて体操競技で色んな経験をさせてもらうことができ、考える機会をたくさんいただきました。

その中で最も印象的だった出来事が私が出場した2016年リオデジャネイロオリンピック大会で起きました。これは世界的にもニュースになったのですが、韓国代表の選手と北朝鮮代表の選手が試合後

に肩を組んで写真を撮りSNSに投稿したということがありました。この時私はこれがオリンピックなんだ！オリンピックは勝負の域を超えた特別で素晴らしい場所なんだ。と感じたのを覚えています。

オリンピックは『世界平和』がテーマとして掲げられています。ですが、まさにそれを体感できた経験となりました。2014年に中国の南京で行われたユースオリンピック大会(ジュニアのオリンピック)にも出場したのですが、ここでは競技以外にも世界中の文化やオリンピック意義について触れて『この経験を自分の国で広

めてください』というプログラムを必ず受けることになっています。ですので、この記事を書きかけに、今後広めていけたらなと思っています。

日本では当時、中国が反日で危険だというニュースが頻りに放送されており、出国前にも日本人と分かるような物は身に付けないなどのレクチャーを受けて怖かったです。いざ行ってみるとニュースで見ている世界とは別世界というか、中国の方はみんな親切で日本人である私とも凄く仲良くしてくれました。印象が180度変わった瞬間でもありました。

私は今まで10カ国以上海外遠征を経験させてもらったのですが、どの国へ行っても人々は優しく、人種は関係なしに同じ人間として接してくれるので、思っている以上に世界って平和なんだなと思いました。もちろんそうでない部分もあるとは思いますが、自分の体感としては現地に行けばみんな優しい心を持っていると感じました。

今現在のコロナ禍の状況で東京2020大会が開催され

るか分からないのですが、もし開催されれば世界中の人々を温かく迎え入れて素晴らしい大会になる事を願っています。そして私も出場してより多くのことを広めていけたらなと思っています。

また、男女差についてですが、私は男女で何が違うかなどをそもそも意識しておらず、自分らしさを思い描くことを実現させていくために日々楽しく生きる事をモットーとしています。それぞれが『自分らしく』をテーマに、自分の良さを目を向けて、充実した日々を送ればそれで良いのかなと思っています。

逆に言えば女性も男性と同じように活躍できるという事です。し、男性として、女性として、というよりも、私は今後も変わらず自分がやりたい事を自分らしく楽しんでやっていきたいなと考えています。

成功も失敗も自分にとっていっつも大切な経験ですので、皆さんも自分自身の人生を自分らしく楽しんでもらえたらなと思っています。

※東京2020大会開催については、2021年1月現在の情報を元に記事を作成しています。



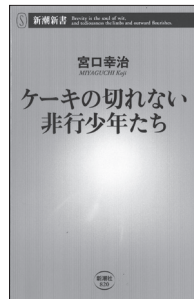
このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介します。男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



子ども・パートナーの心をひらく「聴く力」

著者：辰由加
出版社：秀和システム

コロナ禍の中、身近な家族の心を開いて話を聴く方法「傾聴」を実践してみましょう。「自分の意見を差し込んだらそれは傾聴ではない」「短時間でも効果がある」など、徹底的に聴いていることが相手に伝わる技術が満載です。



ケーキの切れない非行少年たち

著者：宮口幸治
出版社：新潮社

本書の主人公は人口の10%強いと言われる「境界知能」の子どもたち。当たり前のことが理解できないため、当たり前のことをすることもできない。彼等を非行少年にしないためには、周りがその困っている状況に早い段階で気づき支援することが大切だと教えてくれる作品。



完全版 韓国・フェミニズム・日本

責任編集：斎藤真理子
出版社：河出書房新書

文芸誌の同タイトル特集がさらに充実。K文学の最前線をフェミニズムの視点から紹介。今年小説「82年生まれ、キム・ジョン」のベストセラーと映画化、例のあのドラマやKポップでも再注目の韓流。きっと韓国フェミ小説の虜に！厳選ブックガイド付き。

パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。2020年12月までの主な事業をご報告いたします。



2020年9月12日(土)

知っ得!男性にも役立つ介護術
～仕事介護の両立講座～
講師：継枝綾子さん

元ケアマネージャーによる介護準備講座。介護保険等の公的情報、介護する側・される側のメンタルケアを学びました。「ひとりで介護を抱えこまない。介護サービスを利用して自分の息抜きの時間を作る。」という講師の言葉で、私の介護の不安は軽くなりました。



2020年11月18日(水)

「LADY.に生きる!」
～子どもが生きるチカラを身に付けるために、親が大人が学ぶこと～
講師：中野宏美さん

「性暴力ゼロ」を目指し活動している中野さんの講座。『高校生恋愛・性暴力の意識調査』『大学生が制作したデートDV動画』の紹介も有り、「相手と意見が違っても自分の意見を伝えることの大切さ」等を学びました。



オンラインで開催!!

2020年10月17日(土)

夫婦で考える!
産前産後の子育てプラン
講師：渡邊大地さん

産後うつ問題や、夫婦で協力して子育てに取り組むための工夫など、パパの視点からお話頂き、多くの共感と発見がありました。初のオンライン講座はリラックスして臨め、夫婦でクイズに解答するなど楽しくてあっという間の2時間でした。

LGBTQ(*)とスポーツを支援「プライドハウス東京」



【プライドハウス東京 URL】
<https://pridehouse.jp>

「プライドハウス東京」は、LGBTQなど性的マイノリティに関する情報を発信しながらホスピタリティ施設を運営、多様性に関連したイベントなどを提供するプロジェクトです。35の団体や専門家、企業、駐日各国大使館などをはじめアスリートやスポーツ関係者とセクターを超えて連携しています。

2020年10月には日本初の大型総合LGBTQセンターを新宿区に開設。読書や待ち合わせ、ひと息つく居場所としての機能のほか、今後は相談支援も検討中です。LGBTQライブラリーも充実し、オールジェンダートイレ、授乳ができるベビールームも完備。現在、オンライン・オフラインでの企画を展開中です。

この「プライドハウス」、2012年バンクーバー冬季オリンピックで、地元NPOが期間限定でホスピタリティ施設を立ち上げたのが始まり。LGBTQ当事者や選手、支援者らが安心して過ごせる場を提供しました。以来、国際スポーツ大会のたびに各地で地元NPOが「プライドハウス」を設立してきたのです。国際ネットワーク「プライドハウス・インターナショナル」も誕生しました。

オリンピックは延期、コロナ禍も中長期化する中だからこそ性的指向や性自認に気兼ねなく安心して繋がれる場をとの思いで、大会に先立ち動き出した「プライドハウス東京」。日本社会によりポジティブな影響をもたらすよう、次世代LGBTQの若者たちのためにも取組を続けています。

(*)Qとは、Questioningの頭文字。自身の性自認や性的指向が決まっていないセクシュアリティの意。

ステキに男女平等参画!

in 西東京

「男性の活躍」編

遊びの本当の楽しさ伝えたい

(社福)ナオミの会 西東京市立ほうやちよう保育園 保育士
諏訪部大輔 さん



大学卒業後に専門学校で社会福祉士の資格を取得し、学童クラブで働きながら保育士の資格も取り、7年前からここで働かせてもらっています。

僕が保育士を選んだ理由は、幼少期に病気がちで思いつき遊び経験がないからだと思います。でもだからこそ今は、子どもたちと一緒に遊びを楽しみ、子どもたちの本当の気持ちを読み取ってあげることができるのだと思います。



▲ジッケンくんに変身して、子どもたちの興味を引きつけます

就職先を探していた頃は男性の間口は狭く、僕も一度は断られたのですが、ここの園長先生は「ぜひ一緒に」と採用してくれました。

他の女性の先生たちも仲間として受け入れ、今も男性としての利点を生かせるよう上手に接してくれています。

僕はオリジナルの「変身モノ」が得意で、外遊びのシゼン(自然)くんやジッケン(実験)くん、室内遊びのケンダマン(けん玉)などに扮することもあります。アイデアが浮かんでそれを実行すると、子どもたちの目の輝きがホントに違ってくる!とても分かりやすいですね。それがまたこの仕事の一番のやり甲斐になっていると思います。

今後は、コミュニティとしての保育園として、もっと地域に根差した保育をやっていけたらと思っています。子どもたちの成長を長く見守っていけたらとも思っていて、保育園にもし学童クラブができれば、子どもたちが小学生になってからもまた一緒に遊べるかなと思ったりもします(笑)。

女性 相談

悩みなんでも相談(予約制)

予約受付電話:042-439-0075

日々の暮らしの中での自分自身のこと、家族のこと、職場や学校での人間関係、パートナーの暴力などで不安を感じて「どうしていいかわからない」というときは、ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

面接による相談ですが、来所が難しい方は予約受付時にご相談ください。

こんなささいなことでも
相談しちゃって
いいのかな。

友だちや家族にも話せないし…
安心して話せる場所が
あるといいな。



秘密厳守・無料

予約受付時間

月曜日から金曜日…午前9時から午後5時
(木曜日のみ午後8時まで)
※祝日並びに年末年始を除く

場所

- 住吉会館内 男女平等推進センター パリテ
- 田無庁舎2階 相談室

これってもしかしたら暴力?
モラハラ?

すぐに離婚したいわけじゃないけど、
多少の知識は得ておきたい。

登録団体 募集中

(男女平等推進係)

男女平等参画社会の実現をめざして活動するグループを支援します。
団体登録をしていただくと、次のとおり施設をご利用いただけます。

活動室

- グループ活動の場や、活動の際の保育室としてご利用いただけます。(無料)
- 登録団体は3カ月前(その他の方は2カ月前)から予約申し込みができます。
- 利用時間 午前9時～午後10時

団体 連絡箱

グループで作成したチラシなどを配布できるロッカーです。申請をしていただくと、ご利用いただけます。

パリテ 2021.9
No.26

愛称「パリテ」とは…フランス語で“平等な”という意味です。

- ◆企画・編集◆ 男女平等推進センター企画運営委員会
- ◆発行◆ 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内
☎ 042-439-0075
- ◆企画運営委員会委員◆ 青木とし代、稲葉友香、鎌田陽一、白井香澄、坪内暁子、秦かおる、星竜也、吉田朋子
- ◆制作◆ 株式会社ドゥ・アーバン

- ▶情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからご覧いただけます。
URL: <http://www.city.nishitokyo.lg.jp>
- ▶ご意見、ご感想をお寄せください。
E-mail: kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

Access



● 編集後記 ●

いよいよ開催目の東京2020大会。これまでのオリンピック・パラリンピックの歴史を振り返ると、スポーツの歴史であると共に人権の歴史でもあることが分かります。試合の勝敗や成績だけが重要なわけではありません。さまざまな多様性をもった人類が、互いの違いを認め、讃え合えることのできる世界の実現のための大会になることを心から願っています。(星)